

各地域での支援の充実・促進について

by高橋清樹

- 教育委員会とNPO等支援団体が目指すべき方向性について
 - ～大阪と神奈川の教育ビジョンにおける「外国につながる生徒」への支援の考え方
- これからの具体的な方策（これならできそう・・・案）
 - ガイダンスの活用（具体的な活用法は、「Q&Aでわかる外国につながる子どもの就学支援」
 - 大学や国際交流協会のハブ的な機能
 - スモールスタートでボランティアの活動開始！（学習教室、子育て支援etc）
 - オンラインを活用して、少し広域のイベント（大学の先輩の話を聞く会など）
 - 企業の社会貢献（地域団体への支援、キャリア講座、インターンシップ）

高校進学ガイダンスinかながわ

2019年...県内6箇所（参加者総数966名、
内高校教員110名、通訳101名）
2020年と2021年はWebでの情報提供と
オンライン相談

高校の先生

高校の説明
受け入れに関する相談
高校の先輩の話

高校進学希望者

教育委員会+NPOの
協働事業

予算、入試情報=県教委
翻訳、通訳等=NPO

<情報提供>

- ・多言語ガイドブック
- ・入試要綱に準ずるもの
- ・通訳対応

連携の輪と
広がる可能性

中学校の先生+支援者
受検生のサポート





本体2,200円+税

ネット書店で購入



ツイート

Check

B! 0

シェア 4

Q&Aでわかる外国につながる子どもの就学支援

「できること」から始める実践ガイド

小島 祥美 編著

各国事情・文化 > 文化・民族・エスニシティ > 外国人問題・移民問題

この本に関するお問い合わせ・感想

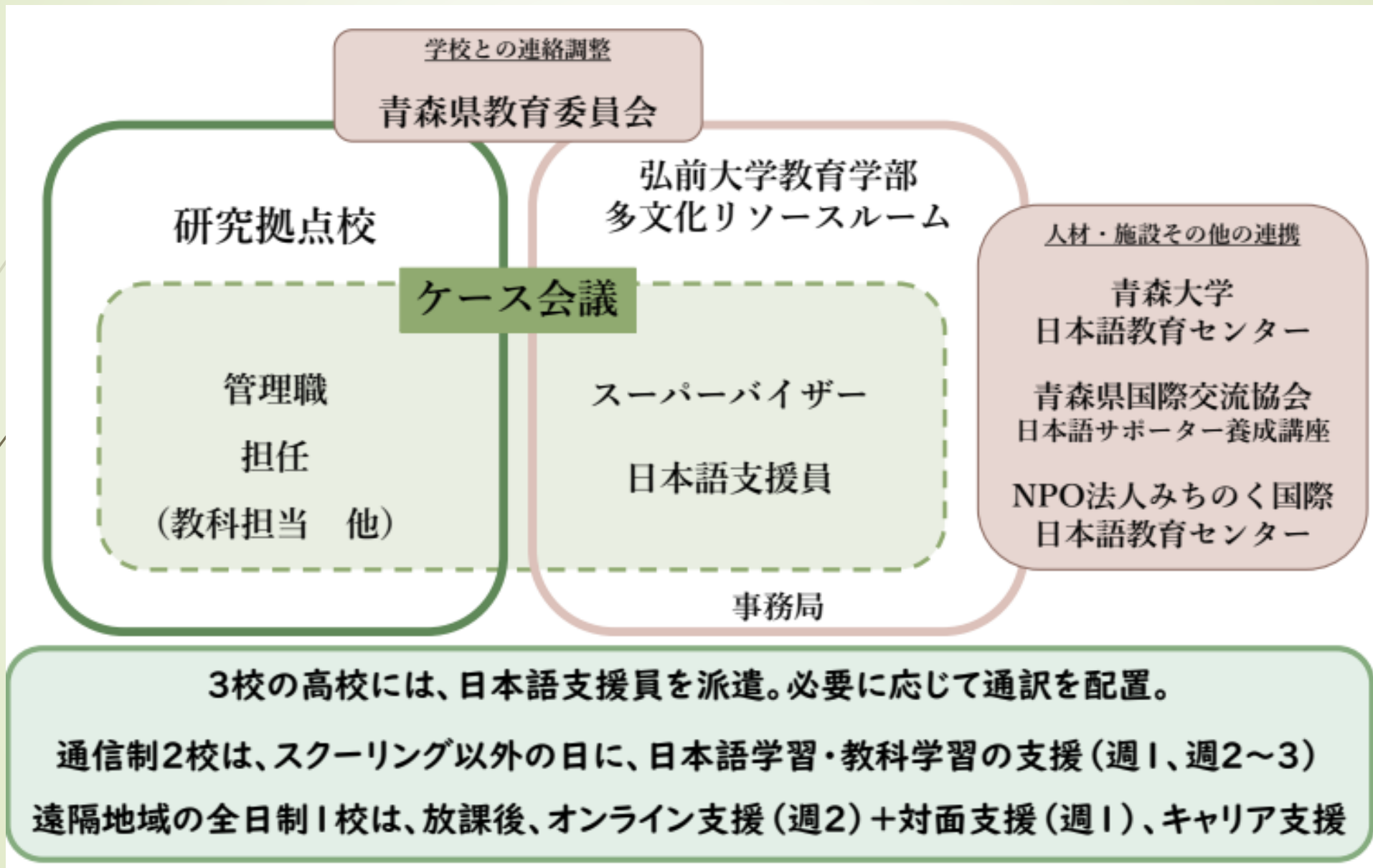
内容紹介

目次

国の調査で、日本に住む外国人の子どもの約6人に1人が不就学であると明らかになった。「不就学ゼロ」のために学校や地域で私たちにできることは何か。本書は、現場で使える支援のポイントをまとめた初のバイブルである。基礎自治体の職員、教育関係者必携。

大学のハブ機能・・・青森県の事例から

出典：東京学芸大学2021/12/5フォーラム「高等学校における日本語指導体制の整備に向けて」
<https://www.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/forum.html>
パネルディスカッション発題3 吉田美穂（弘前大学）資料より



多文化ユースプロジェクト

→当事者の若者の取り組み

<https://www.multiyouth.com/multiculturalyouth/articles/c19e5d4f-eaea-4baa-883a-01d7e65ad6fc>

外国にルーツをもつ高校生のための進路体験まとめ

📅 2020-07-13 👁 756



企業との交流会：経済同友会の社会貢献活動

6



経済同友会「学校と経営者の交流活動」

<https://www.doyukai.or.jp/kyoiku/regist/>

👉 アマゾンジャパン合同会社
バイスプレジデント 渡部一文 さん
大学院生（フィリピンルーツ）

- ①日本に多様性が広まるためには、日本はどうすれば良いと思いますか。また、私たち外国につながる生徒にもできることはあると思いますか。
- ②日本の若者は失敗を恐れていると思いますが、それを克服するにはどうすれば良いと思いますか。

アイロボットジャパン合同会社
代表執行役員社長 挽野 元さん



渡部さんからの回答

①多様性が成功確率を高め、Innovationを起こす事例を日本の社会が身をもって体験する必要があります。例えば、最近のラグビーの日本代表が強くなったのは、海外出身者をルーツに捕らわれず積極的に取り入れたからです。海外にルーツを持つ皆さんが日本の社会で活躍すること自体が日本に多様性が定着することに貢献します。

②日本の若者は、親世代が獲得した目の前の小さな幸せに満足せず、自分の可能性を追求して更に大きなチャレンジに挑む姿勢が必要です。海外ルーツの皆さんは、成功に対してよりハングリーだと思います。自分を信じ、世界から新しい情報を得ることにより、自分の夢を持つことが大事だと思います。